

決 算 報 告 書

第 36 期

自 2025年06月01日

至 2026年03月31日

キャロルシステム株式会社

貸借対照表

2026年03月31日 現在

キャロルシステム株式会社

(単位：円)

資産の部		負債の部	
科目	金額	科目	金額
【流動資産】	442,586,022	【流動負債】	181,664,437
現金	328,156	買掛金	79,794,410
銀行預金	170,313,900	未払金	5,246,316
売掛金	177,818,772	未払費用	39,501,275
仕掛品	76,987,085	前受金	1,963,500
前渡金	1,677,248	未払消費税等	619,600
前払費用	15,460,861	未払法人税等	8,054,600
【固定資産】	66,972,421	リース未払金	10,065,000
有形固定資産	26,421,611	預り金	4,989,986
建物	13,641,900	賞与引当金	30,833,000
建物付属設備	8,002,865	前受収益	596,750
工具器具備品	7,436,640	負債の部合計	181,664,437
リース資産	9,093,100	純資産の部	
少額資産	375,228	科目	金額
建物減価償却累計額	△ 4,554,166	【株主資本】	327,894,006
建付減価償却累計額	△ 2,617,538	資本金	66,750,000
工器減価償却累計額	△ 4,956,418	利益剰余金	275,068,722
無形固定資産	2,007,496	利益準備金	290,500
ソフトウェア	2,007,496	その他利益剰余金	274,778,222
投資その他の資産	38,543,314	繰越利益剰余金	274,778,222
差入保証金	25,214,324	(うち当期純利益)	573,516
長期繰延税金資産	13,328,990	自己株式	△ 13,924,716
		純資産の部合計	327,894,006
資産の部合計	509,558,443	負債・純資産の部合計	509,558,443

個別注記表

自 2025年06月01日

至 2026年03月31日

キャロルシステム株式会社

1. この計算書類は、「中小企業の会計に関する指針」によって作成しています。

2. 重要な会計方針に係る事項に関する注記

(1) 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法

- ・商品……個別法
- ・仕掛品…個別法

(2) 固定資産の減価償却の方法

①有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しています。

ただし、平成10年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く。）並びに平成28年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しています。

②無形固定資産

定額法を採用しています。

(3) 引当金の計上基準

①貸倒引当金

債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権について法人税法の規定による法定繰入率（1000分の6）により計上するほか、個々の債権の回収可能性を勘案して計上しています。

②賞与引当金

従業員の賞与支給に備えるため、支給見込額の当期負担分を計上しています。

(4) 収益及び費用の計上基準

①収益

金銭的重要性の乏しいもの以外は、実現主義（検収基準）で計上しています。

②費用

金銭的重要性の乏しいもの以外は、発生基準で計上しています。

(5) 原価計算方法

全部原価の実際個別原価計算を採用しています。

(6) その他計算書類の作成のための基本となる重要事項

消費税等の会計処理は、税抜方式によっています。

3. 貸借対照表に関する注記

有形固定資産の減価償却累計額

12,128千円

4. 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当該事業年度の末日における発行済株式の数

普通株式 16,385株

(2) 当該事業年度の末日における自己株式の数

普通株式 2,285株

(3) 当該事業年度中に行った剰余金の配当に関する事項

該当なし

(4) 当該事業年度の末日後に行う剰余金の配当に関する事項

該当なし

(5) 当該事業年度の末日において発行している新株予約権の目的となる株式の種類及び数

該当なし

以上